

アートを見ることと作ることは、私たちにとってまったく別のものなのでしょうか？出かけた先でアートに触れて私たちが感動するのは、誰かが作品を生み出してはじめて可能になることです。それぞれに行われるものと思われがちな鑑賞と創作の行為を、同じ場で体験できてしまう、そんな展覧会を開催します。

アート発信基地「A-LAB」は、若手アーティストの発表を支援し、アートを鑑賞できる機会をつくってきました。また夏休みには市内の公共施設で、アーティストによる創作体験教室「A-LAB GO+」を行っています。講師は、普段は美術館やギャラリーなどで作品を制作しているアーティストたちです。アーティストを介すると、素材や技法はひとつの表現に変化し、アートが生まれます。それを追体験することは作品を理解する手がかりともなり、鑑賞体験を豊かにしてくれます。

本展では、昨年A-LAB GO+に参加したアーティストユニット今今、柴原直哉、そして新たに紹介する三木梨々花の3組のアーティストがA-LABで展示を見せてくれます。今今は日常にあるささやかな事象をすくい取り空間を構成します。柴原直哉は木版画の複数性を生かしたアニメーションを展示。三木梨々花は表情豊かな子どもを身近な素材で表した作品で空間を彩ります。

また会期中のイベント「アーティストワークショップ」では彼らが講師となり、「いつでもだれでもワークショップ」は彼らがプロデュースした作家不在で行える内容です。この鑑賞・創作体験に参加した方は、展示に自らの作品を加えることができます。このような鑑賞と創作の間を行きつ戻りつするような体験は、アートをもっと身近に、そして新たな楽しみ方を教えてくれるでしょう。

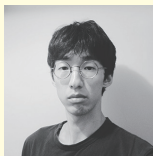
● 出展作家 ●

今今 konkon



2018年に森田朝美・高畑紗依の二人で活動始める。拾った小石や、何気なく耳に入ってくる電車の音、風で揺れるカーテンなど、誰もが見聞きしたことのあるものを集め、それらをもとに小さなオブジェや影・光などを用いたインスタレーションを制作している。「い・き・の・ね -VERSE TERMINAL-」(西淀川アートターミナル、大阪、2023)、個展「小波の庭」(kumagusuku、京都、2021)、個展「耳でみつめる、目をすます」(gallery yolcha、大阪、2019)など。

柴原直哉 Shibahara Naoya



浮世絵の伝統技法を用いた、木版画ならではの木目や摺りの質感を生かし、版画ならではの複数性を生かしたアニメーションを独自の方法で制作している。メルボルン国際アニメーション映画祭などで上映。「ニユ〜パライソ別世界編」(千鳥橋、大阪、2025)、「二〇〇光年先でまばたき」(FRAME in VOX、京都、2024)など。

三木梨々花 Miki Ririka



子どもの純粋さや残酷さといった矛盾を孕む要素に向き合い、その仕草を描くことで精神性や個性の表現を試みている。パステル画や、ダンボールを用いたインスタレーションを制作。「梅田小品展2025」(芝田町画廊、大阪、2025)、「がいなけんいける」(STUDIO KAN、京都、2024)、「キテミテ中ノ島2024」(中ノ島駅改札内、大阪、2024)など。

● アーティストワークショップ ●

出展作家を講師とした大人でも子どもでも楽しめる創作体験または鑑賞体験です。

1、2は参加者の作品を展示に加える、もしくは持って帰れます。

● 参加無料・先着順

● 2、3は申込不要 ※ただし参加希望者が多数の場合はお待ちいただく場合があります。

● 1、4は要申込、申込開始は7月10日(木)から。

[申込方法] イベント名、日時、氏名、年齢、電話番号、参加人数を明記の上、
amalove.a.lab@gmail.comまでお送りください。

● 1、2は汚れてもよい服装でご参加ください。

1 ダンボールフェアリー



身近な素材のダンボールを使って机に置けるマスコットか、吊り下げのモビールを作ります。ダンボールを手で曲げてボンドで貼り付け、パステルで絵を描くとダンボールフェアリーになります。

講師 | 三木梨々花

日時 | 8月3日(日)、7日(木)、9月7日(日) ①10:00—②13:00—③15:00—

所要時間 | 約120分(途中参加不可) 会場 | Room1

定員 | 各回12名 ※未就学児〜小学2年生は保護者同伴

2 木版画を摺ってみよう！

よく知られている浮世絵のモチーフ、富士山や人物の版木を用意しています。それらを組み合わせたコラージュ木版画を摺ってみましょう。本格的な絵具や版木による伝統的技法のぼかし摺りなどに挑戦できます。



講師 | 柴原直哉

日時 | 8月17日(日)、24日(日)、31日(日) 10:00—17:00(12—13時をのぞく)

所要時間 | 約45分 会場 | ロビー 定員 | 6名(入替制) ※未就学児〜小学2年生は保護者同伴

3 ぶかぶか茶の間



展示作品《声つむ海》の中で、お茶とお菓子を囲みながら、今今と一緒に気に入りのものや旅のこと、あるいは毎日のことについてお話ししませんか。ご持参いただいたものを展示の一部にしたり、他のの方のものと交換したりできます。お茶・お菓子だけの参加も可能です。

講師 | 今今

日時 | 9月12日(金)、13日(土)、14日(日) 14:00—18:00

所要時間 | とくになく出入自由 会場 | 和室 定員 | 8名(入替制)

ご持参いただくもの | ちょっと大切なもの、思い入れがあるけれど手放していいもの(例:旅行先の船のチケット、あの日食べたアイスクリームの棒、あさがおの種など)

4 声つむ海をただよう会

展示作品《声つむ海》の中で、イベント中限定で今今が日々の音を流したり、通常の展示にちょびっと変化を加えていきます。寝転んで鑑賞してみたり、耳を澄ませてみたり。展示会場をゆったりと漂ってみませんか。



講師 | 今今

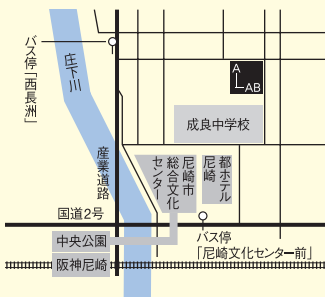
日時 | 9月13日(土)、14日(日) 10:30— 所要時間 | 約30分

会場 | 和室 定員 | 各回6名 ※ただし9月13日(土)、14日(日)

10:30—11:00はワークショップ開催のため和室はご覧いただけません。

気軽に体験いただける「いつでもだれでもワークショップ」は8月2日(土)から行います。詳細はHPをご覧ください。

今年の夏もA-LAB GO+は尼崎市内の生涯学習プラザで実施します。アーティストは筒井夏鈴、武雄文子。詳しくはこちら。



住所

尼崎市西長洲町2-33-1

※会場に一般用駐車場はありません

問い合わせ先

A-LAB | TEL / FAX 06-7163-7108

尼崎市文化振興課

TEL 06-6489-6385 FAX 06-6489-6702

ama-a-lab.com

Facebook @amalove.a.lab

Instagram @alab_amalove

A
LAB

